

## 製品安全データシート

### 製造者情報

会社名 株式会社ニッポンジーンテク  
住所 富山県富山市荒川 1-1-24  
担当部門 製造部 品質管理課  
作成者 糸岡利行  
電話番号 076-443-9561  
FAX 番号 076-443-9120  
作成 2002 年 10 月 15 日

整理番号 0008

### 製品名 (化学名、商品名、等)

(*CUGA*<sup>®</sup> Sequencing)

## Matrix Standard Set Up Kit

(for ABI PRISM<sup>®</sup> 310 Genetic Analyzer)

### Kit の構成

RNA polymerase, 20mM KPO<sub>4</sub>, 100mM NaCl, 0.1M EDTA, 0.01% TritonX-100, 1mM DTT, 50% Glycerol, 8mM MnCl<sub>2</sub>, ddH<sub>2</sub>O RNase free

### 物質の特定

単一製品・混合物の区分： 混合物

成分および含量： RNA polymerase, 20mM KPO<sub>4</sub>, 100mM NaCl, 0.1M EDTA, 0.01% TritonX-100, 1mM DTT, 50% Glycerol, 8mM MnCl<sub>2</sub>, ddH<sub>2</sub>O RNase free

化審法公示番号： Glycerol 2-242

MnCl<sub>2</sub> 1-235

CAS No. : Glycerol 56-81-5

MnCl<sub>2</sub> 13446-34-9

国連分類： 該当しない

国連番号： 該当しない

### 危険・有害性の分類

分類の名称： Glycerol 分類基準に該当しない

MnCl<sub>2</sub> その他の有害物質

危険性： -

有害性： Glycerol ・吸入または飲み込んだ場合、有害であり、咳、息切れ、発熱等を起こすことがある。眼、皮膚、粘膜に接触すると、刺激作用があり、

発赤を生じることがある。長期暴露により手指の振せん、歩行障害、不随意性運動障害、発語異常等のパーキンソン病症候群様症状が現れることがある。

環境影響： -

---

### 応急処置

- 目に入った場合： 直ちに、少なくとも15分以上多量の水で目を洗う。異常があれば、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を脱がせる。付着部または接触部を石鹼水または多量の水で十分に洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じたら、医師の手当を受ける。
- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときには直ちに人工呼吸を行う。
- 飲み込んだ場合： 多量の水または食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。

---

### 火災時の措置

- 消火方法： 本品は不燃性である。火元への燃焼源を断ち、消化剤を用いて消火する。また、延焼のおそれの無いよう水スプレーで周辺のタンク、建物を冷却する。移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
- 消火剤： 特に無し

---

### 漏出時の措置

火気厳禁とし、できるだけ空容器に回収し、残りはウエス、雑巾等で拭き取り、その後、多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。風化で作業をしない。  
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

---

### 取り扱いおよび保管上の注意

- 取り扱い：
- ・火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
  - ・吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
  - ・容器を密封し、または局所排気装置を設置する。
  - ・容器を転倒、落下、衝撃等の粗暴な扱いをしない。
- 保管：
- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接

触を避ける。

その他： ・労働安全衛生法に定めるところに従う。

---

### 暴露防止装置

管理濃度 作業環境評価基準： 1mg/m<sup>3</sup> (マンガンとして)

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値 0.3mg/m<sup>3</sup> (マンガンとして)

ACGIH (TLV)： 5mg(Mn)/m<sup>3</sup> (TWA)

OSHA (PEL)： -----

設備対策： ・屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。  
・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具： 防塵マスク、空気呼吸器、保護メガネ、保護手袋、保護長靴

---

### 物理 / 化学的性質

外観： 淡赤色結晶

臭気： 情報の入手が困難

沸点： 106

融点： 情報の入手が困難

溶解度： 水に易溶、エタノールに可溶、エーテルに不溶

蒸気密度： 情報の入手が困難

蒸気圧： 情報の入手が困難

比重： 2.01

---

### 危険性情報 (安定性・反応性)

引火点： 情報の入手が困難

発火点： 情報の入手が困難

爆発範囲： 情報の入手が困難

安定性および反応性 安定

---

### 有害性情報

急性毒性： 経口 - ラット LD<sub>50</sub> : 1484mg/kg

腹腔内 - ラット LD<sub>50</sub> : 138mg/kg

非経口 - ラット TDLo : 239mg/kg

刺激性： 情報の入手が困難

変異原性： 情報の入手が困難

ガン原性： OSHA, NTP, IARC にガン原性の記載無し

慢性毒性： 情報の入手が困難

---

### 環境影響情報

魚毒性： 情報の入手が困難  
分配係数： 情報の入手が困難

---

### 廃棄上の注意

沈殿法： 水に溶かし、消石灰等の水溶液を加えて沈殿させ、濾過して埋立処分する。

---

### 輸送上の注意

- ・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
  - ・その他、労働安全衛生法に定めるところに従う。
- 

### 適用法令

労働安全衛生法	法第57条の2（令第18条の2）名称等を通知すべき有害物 No.548 特定化学物質等障害予防規則 第二類物質 作業環境測定基準，作業環境評価基準
毒物および劇物取締法	非該当
消防法	非該当
危険物船舶運送および貯蔵規則	非該当
PRTR法	第一種指定化学物質 No.311

---

### その他

- ・引用文献：
    - 1) 化学大事典 共立出版（株）（1993）
    - 2) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH (2000)
    - 3) 米国 OSHA 危険有害性の周知基準 - 規則と危険有害性物質リスト - （第4版） 日本化学物質安全・情報センター(1989)
- 

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意をしてください。  
本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。